

第5回 やまぐち体操フェスティバル (2016年度一般体操祭)

日程	平成29年2月19日(日)
会場	維新百年記念公園 スポーツ文化センターアリーナ
参加団体	9団体
参加者数	234名



新しい参加者がさらに増え、入場者数も劇的に増加した。器械体操・ジャズダンス・バトン・フラダンス・ヒップホップ・バレエなど幅広いジャンルで子どもから大人まで観て楽しむフェスティバルにもなった。また、昨年からイベントの始めに「いちのせき体操」を、そして最後に「ラヴェンダー体操」を演技者として入場者が行っている。皆で一体となって充分身体を動かし、笑顔と拍手喝采のうちにフェスティバルが終わった。



第48回 健康のための体操発表会

日程	平成29年3月5日(日)
会場	愛知県体育館
参加団体	66団体
参加者数	2,868名



天候に恵まれ、愛知県下3,000名近い参加者が愛知県体育館に集い、日頃の練習成果を披露した。参加チームの中から会長賞をはじめ、なごやか賞・輝いた賞等々、合計7チームの表彰があり、大きな歓声で会場が湧き上がった。あいち巡りん体操稲沢バージョンを整理体操で行い、会を終了した。



2017 千葉県体操フェスティバル

日程	平成29年3月19日(日)
会場	千葉県 総合スポーツセンター体育館
参加団体	14団体
参加者数	180名



2017千葉県体操フェスティバルは今回で13回目を迎えた。参加者は、春の訪れを導く妖精の如く、華やかに、可愛らしく、全身で表現される舞に会場からは大きな拍手が続いた。今後は、発表機会の少ない方々に参加を呼びかけ、更に工夫をしていきたいと思っている。最後は、参加者全員でLet's DANCE!で心ひとつとなって来年の出会いを期待し、会を終えた。



第12回 一般体操フェスティバルin鳥取

日程	平成29年3月25日(土)
会場	鳥取県立米子産業体育館
参加団体	28団体
参加者数	582名



新しくカンフー演武や空手の仲間が加わり、さらに親子1グループで100名を超える参加もあり、どのチームも個性あふれる作品で楽しみながら踊っている姿がとてもほほえましかった。昨大会より、参加の中から最高齢者表彰を開会式で行っている。毎年このことではあるが、他のイベントに較べて参加者・観覧者ともに会場を盛り上げようというあたたかい空気がこの大会の大きな特徴であると自負している。



コンテスト部門

「Gymnastics for All だれもが体操を楽しむための工夫!」をテーマに、アイデア豊かな作品を披露した。老若男女が多様な観点から様々な工夫された演技に対して、客席から惜しみない拍手や驚きの歓声が湧き上がった。各審査員より、受賞したチームの演技内容について講評がなされ、今後の活動への大きな励みとなった。

●ゴールド賞 受賞チーム

●東京女子体育大学新体操競技部

“動きを通して協力する力と信頼関係を養う”今年道具を使わず、音楽に合わせたなめらかな演技と、集団で演技者を持ち上げる力強い演技の対比で構成しました。集団によるリフトでは、上に立つ演技者は下の支えを信頼し、体を任せていきますが、少しでもタイミングが合わないと立ち上がることができません。本番では緊張感にも助けられリフトも成功し、「ゴールド賞」という大きな評価をいただきました。今後もいただいた賞を励みに74名が心をひとつにして動く楽しさを、観客の皆様へ伝えたいと思っています。



●健康体操教室ハローフレンズ イノア

今年も金賞頂きました。ありがとうございます。やった〜!イノアの健康体操は、常にすべての皆さんが健康体操に親しみ、健康体操によって元気になれることを目指しています。まさにGymnastics for Allです。今年のコンテスト発表作品は地域のケーブルテレビ会社と共同で作り、地域を健康体操で元気にしたいという願いを込めて普及活動進行中!!コンテストはいつも他のチームの工夫も勉強になり、毎年の励みです。交流って大事です。全国の皆さん、イノアと一緒に体操を楽しみませんか?いつでも歓迎!!



日程・会場	2016年6月18日(土) / 国立代々木競技場 第2体育館		
概要	本イベントは、「コンテスト部門」と自由に演技発表を楽しむ「一般発表部門」から成り、参加者にとって学びの機会や体操の輪を広げることを目的とする。		
参加者数	●コンテスト部門 11チーム 286名	●一般発表部門 7チーム 136名	
審査員	山口 みな子(元一般体操委員会) 小野 由紀子(元一般体操委員会) 永利 真弓(シルクドソレイユ・キャストイング・マネージャー) タグチヒトシ(演出家・グライNDERマン主宰) 伊豆 牧子(振付家・ダンサー)		

●ARAIジャズ体操クラブ

初めて参加したジャパンチャレンジでゴールド賞を戴き、とても嬉しいです。軽快なラテンの曲に、ジャズ体操の基本と自由なパフォーマンスを組み合わせました。隊形変化で作品にボリュームを持たせ、ジャンベ奏者と共演することで、表情豊かな作品に仕上げました。これからも、演技に関してはお互いに意見を譲らず妥協せず、何歳になっても輝いていたい願っています。観てくださった方々に少しでも勇気と元気が届いたら幸いです。



●CACこじか体操クラブ

えっ?まさか!!『ゴールド賞:CACこじか体操クラブ』のアナウンスに耳を疑いました。呼ばれるはずのない名前が呼ばれ、一瞬時間が止まりました。毎年、とにかくチャレンジだけはしてきました。シルバーコレクターの皆勤賞も立派なものだと小さな胸を張って…。今回頂いたゴールド賞は、卒業生達のがんばりも加算されたの賞だと思っています。これからも賞にこだわらず、全員参加の皆勤賞を目指してがんばります。ゴールド賞ありがとうございました。



一般発表部門

一般発表部門には、新たな顔ぶれが加わり、合計7チームによって演技発表が行われた。世代に応じて“動く喜び、動ける喜び”が感じられ、和やかな雰囲気を楽しんでいる様子が印象的であった。



ゲストチーム

今回、東京女子体育大学新体操競技部は、ゲストチームとしても華麗でダイナミックなゴースの演技を披露した。部長の長谷川洋子先生が大きなゴースを空中高く操作する方法について分かりやすく解説してくださり、そのパフォーマンスのレベルの高さに多くの参加者が魅了された。

